

法学部経営法学科

学位（教育）プログラム名：経営法学（法学）

経営法学（法学）の学位（教育）プログラムにおいては、民法・商法等の私法系科目の知識を基礎に、企業法および国際法・外国法の知識と法的思考力（リーガルマインド）を身につけ、これらを活かして企業活動および国際社会に生起する諸問題を把握し、解決のあり方を提示することができ、かつ、企業、地域社会、国際社会で活躍することができる学生を育成するため、以下のカリキュラムを編成します。

[教育内容]

法学の入門的知識と学習方法を身につけるため、新入生全員を対象に少人数クラスの「法学部入門ゼミ」または「パワーアップゼミ」による導入教育を実施し、かつ、私法の基礎的知識を習得するため、1年次に、「民法入門」および「民法総則」を必修科目として設置するとともに、専門教育の導入科目として「企業法入門」と「裁判制度概論」を選択必修科目として設置します。

これらの基礎的知識を土台に、企業法制に関する専門的知識を習得するため、2年次以降、民法科目のほかに「会社法Ⅰ」、「会社法Ⅱ」などの企業法（商法）科目を選択必修科目として配置し、かつ、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」などでの議論を通じて法的思考力を高めます。

2年次からは、学生の関心と希望する進路に応じて選択できる2つのコースを設置し、コースの趣旨・目的に沿った科目（コース科目）を配置します。

「企業法コース」は、企業法務に精通したビジネスパーソンや起業家・経営者を対象とする学生を対象に、多くの企業法科目をはじめ、経済法、知的財産法、税法などの企業法務に密接に関連する科目を配置します。「国際コース」は、貿易・国際取引、旅行・観光業、国際機関など国際社会で活躍することを対象とする学生を対象に、国際法科目と外国法科目を中心に科目を配置します。

このように、必修科目、選択必修科目および自コース科目（学生が所属するコースに配当されているコース科目）をもってコア・カリキュラムと位置づけ、かつ、コースごとに専門教育履修モデルを設定し、学生が希望する進路に適合する授業科目を体系的・効果的に履修することができるようにします。

さらに、語学力を活かして国際社会で活躍することを希望する学生のために、海外研修科目を設置します。まず1年次の選択必修科目として「国際コミュニケーション・法政事情」および「国際コミュニケーション海外研修」を設置し、国際ビジネスに重点を置いた語学力を養成します。2年次には「海外法政研修」などの科目を設置し、語学力とともに海外の法制度、政治、文化についての理解を深めます。

このほか、産業界のリーダーを目指す意欲ある学生を対象に、「企業法務特別演習」や「民法特講」などの履修を内容とする「企業法務特修プログラム」を設置します。

こうした専門的知識の習得とともに、人文科学・自然科学・社会科学に関する幅広い教養と英語を中心とした外国語の能力を身につけ、スポーツや運動を通じて健康や体力の維持・増進を図るため、総合教養科目、外国語科目、保健体育科目を設置します。

[教育方法]

新入生を対象とする法学部入門ゼミおよびパワーアップゼミにおいては、受講の心構え、資料収集、報告・討論、レポート作成の方法など、大学の学習において必要となる基本的なスキルを学び、身につけるようにします。

2年次以降の演習科目（演習Ⅰ・演習Ⅱなど）は、少人数で、学生の報告発表、共同研究、討論など、学生が

福岡大学 カリキュラム・ポリシー（CP）

主体的に参加するアクティブラーニングを中心に行います。特講科目においては質疑応答を中心とする双方向型授業を実施します。

講義科目においても、受け身の授業ではなく、質疑応答、グループワーク、レポート・ミニッツペーパーの作成、小テストの実施など、適宜、アクティブラーニングを取り入れ、学生が自ら考え、参加する授業を実施します。

こうした学生の学習をサポートするため、クラス担任をおき、学生の相談に応じたり、アドバイスをしたりするほか、必要に応じて修学指導を行います。